

1日1分!おうちで『SDGsラジオ』指導ガイド ～授業負担なし!家庭でできる探究習慣～

【本取り組みのねらい】

- ・家庭で1日1分、『SDGsラジオ』を聴くことで、企業のSDGsの取り組みを習慣的にインプットする。
- ・学校の総合の授業（17の目標から絞り込み、資料にまとめる等）への探究学習を加速させる。
- ・社会課題に対して「自分にできること」を主体的に考える習慣をつける。

【準備段階（学校）】

- ①学校専用URLの配付：子どもたちの端末（Google Classroom、ロイロノート、Teams等）へ『SDGsラジオ』の児童生徒用URLを一斉配付します。
- ②ワークシートの配付：「1日1本!おうちで『SDGsラジオ』」ワークシートを印刷し、子どもたちに配布します。

▼ワークシート

1日1本!おうちで『SDGsラジオ』		学号・班 名前	
1 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと	2 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと
3 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと	4 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと
5 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと	6 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと
7 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと	8 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと
9 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと	10 イラスト	聴いたこと おもしろかったこと

【先生の指導・運用フロー（3ステップ）】

【Step 1】家庭学習:1日1ラジオを聞いてまとめる（家庭での作業）

聴く：帰宅後、端末からURLにアクセスし、1分間の音声を聴く。

書く：ワークシートに、以下の要素をまとめさせます。

- ・会社名と選んだ目標（SDGsのゴール番号）
- ・どんな取り組みをしているか？（例：「レジ袋の売り上げの一部を寄付してゴミ拾いをしている」）
- ・なぜすごいと思ったのか？自分にできることは？（例：「食べ物のムダを減らせる」「地元の野菜を選ぶ」）
- ・イメージイラスト（商品の絵や、ゴミ箱の絵など、視覚的に表すとより理解が深まります）
- ・保護者のサイン：保護者から「確認サイン」をもらう。

【Step 2】朝の会・宿題提出時：インプットの価値を高める（学校での声かけ）

先生は宿題をチェックする際、「いいまとめ!」「よく気づいたね!」と赤ペンで称賛します。

週に1～2回、朝の会の3分間で「今週、面白い会社を見つけた人?」と数人に発表させるだけで、クラス全体のモチベーションが跳ね上がります。

【Step 3】総合の授業への昇華:調べ学習や個別探究へ（授業での活用）

家庭学習でたくさんの企業事例（ストック）が溜まっているため、総合の授業で「自分の興味のある3つの目標」を絞り込む際、子どもたちが迷うことなく、スムーズに調べ学習や資料作成の段階へ移行できます。

先生から子どもたちへの指導メッセージ（言葉がけのコツ）

子どもたちがノートをただの「作業」にしないために、以下の3点について事前にアナウンスしておく効果的です。

- ・「1つだけ」でいいよ! :1分間のラジオの中にはたくさんの情報が入っています。全部書こうとせず、自分が「へえ!」「すごい!」と思ったことを1つだけ詳しく書こう。
- ・絵を描いてみよう! :言葉だけで表しにくい仕組み（再生可能エネルギーの設備、リサイクルされてできたバスケットなど）は、簡単なイラストで描くと、あとで見返したときにすぐわかりやすくなるよ!
- ・「自分だったら…」を足してみよう:企業の取り組みを聞いて、「これなら自分も普段の生活で真似できそう!」と思うことを一言付け足せたらハナマルです!